

令和2年度 三田市のわかりやすい予算



兵庫県 三田市

目 次

I 令和2年度予算の編成にあたって	1
令和2年度重点施策	3
II 予算の全体概要	5
1 予算の規模	5
2 市税収入の状況	7
3 基金(貯金)残高の状況	8
4 債務(借金)残高の状況	8
III 会計別当初予算の状況	10
IV 一般会計予算の概要	11
1 歳入予算の内訳	11
2 歳出予算の内訳(目的別)	13
3 歳出予算の内訳(性質別)	15
V 成熟都市の実現に向け、次世代につなぐまちづくり～人口減少にも負けないまちへ～	17
1 持続可能な歳出構造へ転換を図る	17
2 成熟都市へのあゆみを着実なものとする	19
(1) 地域の創生	
ア 地域コミュニティと協働	
① 【拡】 ふるさと地域交付金の充実(地域イニシアチブ)	協働推進課 19
② 地域集会所整備費補助金	協働推進課 19
③ 【新】 住民参加による公園管理事業	公園みどり課 19
イ 子育て支援	
① 【拡】 母子保健相談事業	子ども政策課 20
② 【拡】 保育士確保対策事業	保育振興課 20
③ 【新】 私立保育園整備事業	保育振興課 20
ウ 教育の充実	
① 小学校特別教室空調設置事業	教育総務課 21
② 【拡】 部活動指導員配置事業	学校教育課 21
③ 【拡】 特別支援教育の充実	学校教育課 21
④ 【新】 第3期教育振興基本計画策定事業	教育総務課 22
⑤ 【新】 学校への留守番電話導入	教育総務課 22
⑥ 預かり保育室空調設置事業	幼児教育振興課 22
エ 産業の振興	
① 【新】 インキュベーション施設運営補助事業	産業政策課 22
② 【新】 第三テクノパーク開発検討調査事業	産業政策課 23
③ 【拡】 親方農家研修受入支援事業	農業創造課 23
オ 文化・スポーツの充実	
① 【新】 文化ビジョン・郷の音ホール経営改革計画策定事業	文化スポーツ課 23
② 【新】 ワールドマスターズゲームズ2021関西プレイベント開催	文化スポーツ課 23
③ 【新】 東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業	文化スポーツ課 24

カ まちのブランド創造			
①	【新】 観光ビジョン策定事業	まちのブランド観光課	24
②	【拡】 ふるさと納税推進事業	まちのブランド観光課	24
③	【新】 地場産レストラン整備推進事業[青野ダム記念館・ダムサイド公園の活用]	公園みどり課・都市再生課	25

(2) まちの再生

ア 里山及び環境の保全			
①	【拡】 資源循環型竹林整備補助事業	里山のまちづくり課	25
②	【新】 里山活用アドバイザー派遣事業	里山のまちづくり課	25
③	新ごみ処理施設整備事業	クリーンセンター	25
④	合葬墓の整備	環境創造課	26
⑤	【新】 都市近郊農業支援事業	農業創造課・環境創造課	26

イ まちの魅力向上・移住促進			
①	【新】 空き家活用支援事業	都市再生課	26
②	【新】 新婚世帯転入応援補助制度	都市再生課	27
③	【新】 ニュータウン再生調査研究事業	都市再生課	27

ウ 都市基盤整備			
①	三田駅前Cブロック地区推進事業	都市整備課	27
②	福島土地区画整理事業	都市整備課	28
③	相野駅北地区、対中町地区、広野地区まちづくり計画	都市整備課	28
④	公園施設長寿命化事業	公園みどり課	28
⑤	バスシェルター改修事業	道路河川課	28

エ 交通ネットワーク			
①	【新】 高齢者移動交通調査事業	交通まちづくり課	29
②	【拡】 地域外出支援おでかけサポート事業	交通まちづくり課	29
③	【新】 次世代モビリティ実証実験推進事業	交通まちづくり課	29
④	新三田駅西側ロータリー再整備事業	道路河川課	29
⑤	道路新設改良事業	道路河川課	30
⑥	橋梁長寿命化、道路インフラ関連事業	道路河川課	30

(3) 人と人との共生

ア 人と人とのつながり			
①	【新】 障害者への地域イベント情報の発信	障害福祉課	30
②	【新】 「(仮称)三田市人と人との共生条例」検討事業、関係調査事業	人権推進課	31

イ 地域医療・介護			
①	市民病院事業会計支出金	財政課	31
②	【新】 多職種連携情報共有システム運営事業	いきいき高齢者支援課	32

ウ 健康福祉の充実			
①	【拡】 市民の健康づくり事業	健康増進課	32
②	【新】 ロタウイルス定期予防接種	健康増進課	32
③	【拡】 大腸がん検診郵送方式導入	健康増進課	33
④	【新】 不育症治療支援事業	健康増進課	33
⑤	【新】 暮らしのセーフティネット推進事業(就労準備支援、子どもの学習・生活支援)	生活支援課	33

エ 安全・安心の確保			
①	救急車の更新	消防本部	33
②	【拡】 地域消防力の強化(団装備品の充実、第5分団器具庫整備)	消防本部	34
③	【拡】 防災倉庫資機材等整備事業	危機管理課	34
④	【拡】 通学路防犯カメラ整備事業	危機管理課	34
⑤	【拡】 避難行動要支援者制度推進事業(個別支援計画策定)	危機管理課	34
⑥	【新】 高齢者詐欺被害防止対策事業	まちづくり協働センター	35

(4) その他

ア 行政サービスの向上			
①	【新】 第5次総合計画策定事業	政策課	35
②	【新】 政策法務推進事業	政策課	35
③	【拡】 市広報紙リニューアル	秘書広報課	36
④	【拡】 ICT活用事業(電子申請、AI-OCR、ペーパーレス会議システム)	ICT推進課	36
⑤	【新】 テレワーク推進環境の整備	人事課	36
⑥	【新】 窓口キャッシュレス決済導入	会計課	36

イ 公共施設マネジメント			
①	公共施設維持補修費	各施設所管課	37
②	学校・園、給食センター維持補修費等	各施設所管課	38
③	小学校大規模改修事業(すずかけ台小・学園小)	教育総務課	39
④	中学校大規模改修事業(けやき台中第Ⅱ期)	教育総務課	39
⑤	公共施設マネジメントにかかる基金積立金(3月補正)	財政課	39

※【新】は新規事業、【拡】は拡充事業、それぞれ令和元年度当初予算の内容と対比したものです。

I 令和2年度予算の編成にあたって

1 国の状況等

国においては、「経済再生なくして財政健全化なし」を基本に、名目GDP600兆円経済と財政健全化目標の達成に向けた一体的な取り組みを進めています。そのため、幼児教育・保育の無償化や女性活躍推進、働き方改革等を推進して一億総活躍社会を実現し、成長力の強化を図ることとしています。また、全世代型社会保障の構築や国土強靱化、地方創生、SDGsに対応したグローバル社会との連携など重要課題に取り組みながら、成長と分配の好循環を拡大し、持続的な経済成長につなげるとしています。

財政健全化については、2025年度の国・地方を合わせた基礎的財政収支（プライマリバランス）の黒字化と債務残高対GDP比の安定的な引下げをめざすとしています。

また、2年度の地方財政については、地方が人づくり革命や地方創生、防災・減災対策に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、一般財源総額について元年度を下回らないよう実質同水準を確保することを基本として対策を講ずることとしています。

2 本市の財政状況と予算編成について

本市の財政状況は、元年度の歳入のうち市税は前年度を超える178億円程度を確保できる見込みですが、国からの普通交付税・臨時財政対策債の合計額は減少が続き、特別交付税についても自然災害が多発しており、本市では減額が懸念されるなど、これらを主とする一般財源収入は増加が期待できない状況です。

平成29年度から取り組む行財政構造改革では、将来に市税等一般財源が減少したとしても持続的にまちづくりを行えるよう、これまで職員人件費の削減や事業の選択と集中（スマートセレクト）などにより歳出の抑制に努めました。その結果、一般財源ベースの歳出額では、行財政構造改革方針に定める目標を前倒して達成するとともに、30年度決算では、減少が続いていた基金残高を11年ぶりに増加させることができました。

2年度の歳入は、元年度当初予算と比較して、市税が固定資産税の伸び等による微増、地方譲与税・交付金は消費税の税率改定等による増加を見込んでいます。

一方、歳出において本市が直面する課題に目を向けると、少子高齢化の進展等に伴う社会保障経費の増に加えて、まちの成長に合わせて短期間に整備してきた公共施設や道路・橋梁など都市基盤がまちの成熟とともに一斉に老朽化しつつあり、その財政的対応を行うことが課題となっています。

こうしたことから、令和2年度の予算編成に当たっては、成熟都市に向け、社会保障経費の増加などに適切に対応しつつ、次の世代に「ツケではなく、価値を残す」ための取り組みを重点的に行うことで、4年度から始まる第5次総合計画に備えたまちづくりを進めることとしました。その結果として、2年度予算では、前年度を超える財政調整基金（元年度：1.4億円 2年度：2.9億円）及び公共施設等整備基金（元年度：0.6億円 2年度：2.0億円）からの繰り入れを行うこととしました。

3 R2年度の重点施策

将来にわたって三田市が活力を維持し、全ての市民が安全・安心に暮らすまちを創出するためには、成長を前提とする仕組みや考え方を転換し、「地域の創生」、「まちの再生」、「人と人との共生」といったまちの成熟のための取り組みをさらに進めていく必要があります。同時に、若者をはじめ全ての世代の活躍を後押しし、まちに元気を呼び込むことも欠かせません。

そこで、2年度予算は、「次世代につなぐまちづくり予算 ～人口減少にも負けないまちへ～」として位置づけ、次の事項を両立させつつ重点課題等に取り組む予算とします。

(1) 持続可能な歳出構造へ転換を図る予算

行財政構造改革に基づく取り組みなどの成果を反映させ、将来にわたって持続可能な歳出構造へ転換を図る予算とする。

(2) 成熟都市へのあゆみを着実なものとする予算

これまでの取り組みの成果を踏まえ、「新しい風」に象徴される本市の成熟の都市像をより具体化させていくための予算とする。

◆◇ 重点課題等 ◇◆

総括方針	成熟都市の実現に向け、共に創る「住み続けたいまち」
重点課題①	地域の創生…チャレンジできる仕組みを整え、まち全体に元気を生み出す
重点課題②	まちの再生…各地域の特性を踏まえ、賑わいと潤いを取り戻す
重点課題③	人と人との共生…つながりを大切にし、心のバリアのないコミュニティを創る

4 財政の健全化の取り組み

2で述べたとおり、2年度予算の編成においては、社会保障経費や公共施設の適正な維持のための費用等が増加することから、前年度を超える財政調整基金及び公共施設等整備基金から繰り入れをすることにより対応することとしました。

中期財政収支見通し2019では、財政の弾力性を確保するために、6年度までに財政調整基金及び減債基金の残高の合計額を45億円とするとともに、新ごみ処理施設の整備、公共施設の改修、更新等に必要な財源の確保のため、公共施設等整備基金の充実を図ることとしています。そこで、堅調な収支を見込む元年度予算において、これらの基金への追加の積み立てを行うこととし、基金残高の減少を防ぐこととしています。

加えて、今後、公共施設の改修、更新などに伴う地方債発行による債務残高の増加が見込まれます。人口減少等による市税収入の減が見込まれる中で、公債費負担が増えることは、財政の弾力性が乏しくなり、行政需要に応じた施策の実施に必要な経費の確保が困難になることが想定されます。人口減少をはじめ本市を取り巻く環境が厳しさを増す中で、時宜に応じた施策を実施できる財政の弾力性を確保しつつ、本市の未来に向けた投資をするためには、中長期的な視点で債務をコントロールしつつ、歳出全体の最適化を図ることが重要であり、財政収支見通しを活用するなどして、財政の健全性を維持する仕組みづくりとその実行に努めていくこととします。

<令和2年度重点施策>

成熟都市の実現に向け、次世代につながるまちづくり～人口減少にも負けないまちへ～

(1) 地域の創生	21 事業	7億8,458 万円
ア 地域コミュニティと協働		
①【拡】 ふるさと地域交付金の充実(地域イニシアチブ)		60 万円
② 地域集会所整備費補助金		575 万円
③【新】 住民参加による公園管理事業		1,043 万円
イ 子育て支援		
①【拡】 母子保健相談事業		237 万円
②【拡】 保育士確保対策事業		14 万円
③【新】 私立保育園整備事業		2億712 万円
ウ 教育の充実		
① 小学校特別教室空調設置事業		3億9,600 万円
②【拡】 部活動指導員配置事業		361 万円
③【拡】 特別支援教育の充実		1,342 万円
④【新】 第3期教育振興基本計画策定事業		372 万円
⑤【新】 学校への留守番電話導入		37 万円
⑥ 預かり保育室空調設置事業		220 万円
エ 産業の振興		
①【新】 インキュベーション施設運営補助事業		300 万円
②【新】 第三テクノパーク開発検討調査事業		300 万円
③【拡】 親方農家研修受入支援事業		96 万円
オ 文化・スポーツの充実		
①【新】 文化ビジョン・郷の音ホール経営改革計画策定事業		484 万円
②【新】 ワールドマスターズゲームズ2021関西プレイベント開催		264 万円
③【新】 東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業		543 万円
カ まちのブランド創造		
①【新】 観光ビジョン策定事業		468 万円
②【拡】 ふるさと納税推進事業		4,257 万円
③【新】 地場産レストラン整備推進事業[青野ダム記念館・ダムサイド公園の活用]		7,173 万円
(2) まちの再生	19 事業	15億1,609 万円
ア 里山及び環境の保全		
①【拡】 資源循環型竹林整備補助事業		100 万円
②【新】 里山活用アドバイザー派遣事業		10 万円
③ 新ごみ処理施設整備事業		3,464 万円
④ 合葬墓の整備		4,500 万円
⑤【新】 都市近郊農業支援事業		710 万円
イ まちの魅力向上・移住促進		
①【新】 空き家活用支援事業		800 万円
②【新】 新婚世帯転入応援補助制度		281 万円
③【新】 ニュータウン再生調査研究事業		50 万円
ウ 都市基盤整備		
① 三田駅前Cブロック地区推進事業		1億3,566 万円
② 福島土地区画整理事業		2億5,302 万円
③ 相野駅北地区、対中町地区、広野地区まちづくり計画		2,127 万円
④ 公園施設長寿命化事業		3,268 万円
⑤ バスシェルター改修事業		7,861 万円

エ 交通ネットワーク		
①【新】 高齢者移動交通調査事業		191 万円
②【拡】 地域外出支援おでかけサポート事業		190 万円
③【新】 次世代モビリティ実証実験推進事業		100 万円
④ 新三田駅西側ロータリー再整備事業		800 万円
⑤ 道路新設改良事業		2億7,768 万円
⑥ 橋梁長寿命化、道路インフラ関連事業		6億521 万円
(3) 人と人との共生	15 事業	23億5,846 万円
ア 人と人とのつながり		
①【新】 障害者への地域イベント情報の発信		17 万円
②【新】 「(仮称)三田市人と人との共生条例」検討事業、関係調査事業		199 万円
イ 地域医療・介護		
① 市民病院事業会計支出金		22億0,000 万円
②【新】 多職種連携情報共有システム運営事業		22 万円
ウ 健康福祉の充実		
①【拡】 市民の健康づくり事業		140 万円
②【新】 ロタウイルス定期予防接種		2,345 万円
③【拡】 大腸がん検診郵送方式導入		892 万円
④【新】 不育症治療支援事業		30 万円
⑤【新】 暮らしのセーフティネット推進事業(就労準備支援、子どもの学習・生活支援)		400 万円
エ 安全・安心の確保		
① 救急車の更新		7,011 万円
②【拡】 地域消防力の強化(団装備品の充実、第5分団器具庫整備)		4,150 万円
③【拡】 防災倉庫資機材等整備事業		270 万円
④【拡】 通学路防犯カメラ整備事業		325 万円
⑤【拡】 避難行動要支援者制度推進事業(個別支援計画策定)		42 万円
⑥【新】 高齢者詐欺被害防止対策事業		3 万円
(4) その他	11 事業	15億 657 万円
ア 行政サービスの向上		
①【新】 第5次総合計画策定事業		1,435 万円
②【新】 政策法務推進事業		500 万円
③【拡】 市広報紙リニューアル		2,244 万円
④【拡】 ICT活用事業(電子申請、AI-OCR、ペーパーレス会議システム)		562 万円
⑤【新】 テレワーク推進環境の整備		300 万円
⑥【新】 窓口キャッシュレス決済導入		30 万円
イ 公共施設マネジメント		
① 公共施設維持補修費		5億4,214 万円
② 学校・園、給食センター維持補修費等		7,682 万円
③ 小学校大規模改修事業(すずかけ台小・学園小)		1億1,018 万円
④ 中学校大規模改修事業(けやき台中第Ⅱ期)		4億2,672 万円
⑤ 公共施設マネジメントにかかる基金積立金(3月補正)		3億0,000 万円